

第5回小金井市児童発達支援センター運営協議会 次第

日時：令和5年5月17日（水）午前10時から

場所：小金井市役所本庁舎3階 第1会議室

- 1 開会
- 2 事務局職員の紹介
- 3 報告事項
 - (1) 令和4年度の実績報告について
 - (2) 令和5年4月までの実績報告について
 - (3) 業務評価報告書（令和4年度）について
 - (4) 新型コロナウイルス感染症の影響について
 - (5) 令和4年度巡回相談事業の実績報告について
- 4 協議事項
 - (1) 令和5年度巡回相談支援事業について
 - (2) 令和5年度講演会・研修会開催予定
 - (3) 今後の開催日程について
- 5 その他
- 6 閉会

■配布資料

- 資料1-1 児童発達支援センター運営協議会への実績報告（令和4年度）
- 資料1-2 児童発達支援センター運営協議会への実績報告（令和5年4月）
- 資料2 小金井市児童発達支援センターきらり業務評価報告書（令和4年度）
- 資料3 新型コロナウイルス感染症の影響について
- 資料4 きらきらサポート2022報告書
- 資料5 令和5年度巡回相談事業について
- 資料6 令和5年度講演会・研修会開催予定
- 資料7 令和5年度運営協議会開催予定

児童発達支援センター運営協議会への実績報告

令和5年3月31日現在

	令和4年										令和5年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
①相談支援事業（一般）	12件	14件	14件	16件	19件	8件	14件	28件	13件	9件	11件	23件	181件	
②相談支援事業（専門）	60件	53件	63件	72件	91件	92件	87件	115件	101件	95件	114件	122件	1,065件	
③相談支援事業（ ㊟ ）	78件	81件	91件	86件	94件	63件	85件	94件	80件	74件	80件	101件	1,007件	

	令和4年										令和5年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
④児童発達支援事業	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	-	
⑤放課後等デイサービス	49人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	-	
⑥保育所等訪問支援事業	0人	0人	0人	1人	1人	1人	1人	4人	4人	4人	4人	4人	-	
回数	0回	0回	0回	0回	1回	1回	0回	4回	7回	6回	5回	0回	24回	
⑦親子通園事業	18人	20人	19人	20人	24人	26人	24人	26人	29人	29人	28人	28人	-	
回数	5回	8回	6回	10回	10回	11回	11回	10回	12回	11回	7回	7回	108回	
⑧外来訓練事業	152人	153人	155人	154人	156人	156人	154人	156人	157人	158人	157人	157人	-	
回数	350回	322回	456回	374回	332回	363回	367回	331回	391回	425回	355回	348回	4,414回	
⑨巡回相談事業	0回	1回	12回	5回	0回	10回	11回	4回	4回	12回	8回	2回	69回	
その他	研修・講演会等													

事業の報告内容について

①相談支援事業（一般）	新規の相談の方が対象
②相談支援事業（専門）	継続相談の方が対象。計画相談等も含まれる。
③相談支援事業（ ㊟ ）	相談者、関係機関等との電話での相談。一般相談予約数を含む。専門相談予約数は含まない。
④児童発達支援事業	登録者数
⑤放課後等デイサービス	登録者数
⑥保育所等訪問支援事業	登録者数及び実施回数
⑦親子通園事業	登録者数
⑧外来訓練事業	登録者数及び実施回数
⑨巡回相談事業	巡回訪問実施回数（きらきらサポート）、学童巡回相談

児童発達支援センター運営協議会への実績報告

令和5年4月30日現在

	令和5年										令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
①相談支援事業（一般）	16件												16件	
②相談支援事業（専門）	44件												44件	
③相談支援事業（ ㊟ ）	85件												85件	

	令和5年										令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
④児童発達支援事業	21人												-	
⑤放課後等デイサービス	50人												-	
⑥保育所等訪問支援事業	1人												-	
回数	0回												0回	
⑦親子通園事業	8人												-	
回数	3回												3回	
⑧外来訓練事業	147人												-	
回数	317回												317回	
⑨巡回相談事業	0回												0回	
その他	研修・講演会等													

事業の報告内容について

①相談支援事業（一般）	新規の相談の方が対象
②相談支援事業（専門）	継続相談の方が対象。計画相談等も含まれる。
③相談支援事業（ ㊟ ）	相談者、関係機関等との電話での相談。一般相談予約数を含む。専門相談予約数は含まない。
④児童発達支援事業	登録者数
⑤放課後等デイサービス	登録者数
⑥保育所等訪問支援事業	登録者数及び実施延べ回数（人数）
⑦親子通園事業	登録者数及びグループの実施回数（1グループ1回とカウント）
⑧外来訓練事業	登録者数及び実施延べ回数（人数）
⑨巡回相談事業	巡回訪問実施回数（きらきらサポート）、学童巡回相談

小金井市児童発達支援センター きらり 業務評価報告書（令和4年度）



小金井市児童発達支援センター運営協議会 編

令和5年3月

目次

1	運営協議会の目的	1
2	運営協議会の協議内容	2
3	事業と業務評価	3
4	利用者アンケート（外来訓練事業・親子通園事業）	5
5	経年比較	11
6	総括	13

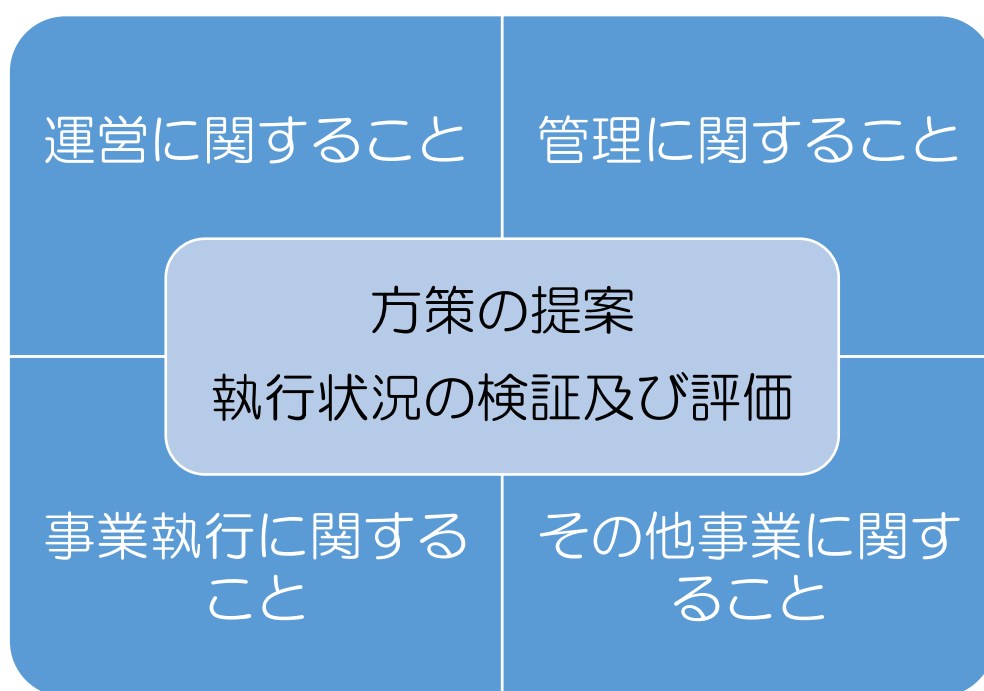
参考資料

小金井市児童発達支援センター運営協議会規則	15
小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿	16
令和4年度講演会・研修会開催実績	17
令和4年度利用実績一覧	18

1 運営協議会の目的

小金井市児童発達支援センターきらりの運営について、利用者及び関係者の意見を反映し、事業運営の適正化を目的として、小金井市児童発達支援センター運営協議会を設置しています。

協議会の所掌事項



協議会の委員構成

単位：人

センター利用者の保護者	3
市内関係団体代表	4
学識経験者	2
関係行政機関の職員	3

2 運営協議会の協議内容

回	開催日	協議内容
1	令和4年5月23日	1 開会 2 市長挨拶 3 委嘱状の交付 4 会長及び副会長の互選について 5 会議録の取扱いについて 6 小金井市児童発達支援センター運営協議会の概要について 7 小金井市児童発達支援センター「きらり」の事業概要について 8 報告事項 (1) 令和3年度の実績報告について (2) 業務評価報告書（令和3年度）について (3) 新型コロナウイルス感染症の影響について (4) 令和4年度巡回相談事業の実績報告について (5) 種類の不適切な取扱いについて 9 協議事項 (1) 令和4年度巡回相談支援事業について (2) 令和4年度講演会・研修会開催予定 (3) 今後の開催日程について 10 その他 11 閉会
2	令和4年8月26日	1 開会 2 委嘱状の交付 3 委員の紹介 4 報告事項 (1) 令和4年7月までの実績報告について (2) 新型コロナウイルス感染症の影響について (3) 令和4年度講演会・研修会の実施状況について (4) 巡回相談の実施状況について 5 今後の開催日程について 6 その他 7 閉会
3	令和4年11月11日	1 開会 2 委嘱状の交付 3 委員の紹介 4 報告事項 (1) 令和4年10月までの実績報告について (2) 巡回相談（きらきらサポート）の中間報告について (3) 新型コロナウイルス感染症の影響について (4) 次年度の利用者募集について 5 運営協議会委員による業務評価について 6 今後の開催日程について 7 その他 8 閉会
4	令和5年2月14日	1 開会 2 報告事項 (1) 令和5年1月までの実績報告について (2) 新型コロナウイルス感染症の影響について (3) 放課後等デイサービスの様子について（紹介） (4) 令和4年度第三者評価の結果について 3 令和4年度業務評価報告書について 4 その他 5 閉会

3 事業と業務評価

(1) きらりで実施している事業

相談支援事業

- きらりを利用する際の入り口です。保護者の希望、児童の状況を考えて、次の支援につなげます。また、専門的な相談が必要な児童には専門相談を実施します。

児童発達支援事業

- 保護者と離れ、日常生活に必要な基本的な生活習慣の自立を図り、社会への適応を促す療育を行います。週5日の通園事業です。

放課後等デイサービス事業

- 小学校に在籍する児童に対し、放課後の時間を利用して、必要な支援や居場所を確保することで、生活能力向上や自立を促します。

保育所等訪問支援事業

- 保護者からの要望に応じて施設へ訪問し、児童が集団生活に適応できるよう、支援していきます。

外来訓練事業

- 保育施設や幼稚園に籍を置く児童に対し、専門的な訓練を提供し、自立や社会への適応力を促します。

親子通園事業

- 幼児との関わり方や遊びを通して、保護者に適切な幼児との関わり方の習得を促します。

(2) 業務評価について

令和元年度までは、運営協議会委員による児童発達支援センターの業務評価として、各委員が児童発達支援センターを訪問し、児童発達支援・放課後等デイサービス・外来訓練・親子通園の各事業について評価を実施していました。

令和2年度以降は、外来訓練・親子通園事業についての利用者アンケート及び児童発達支援・放課後等デイサービス事業についての東京都福祉サービス第三者評価により総合的に評価を実施しました。

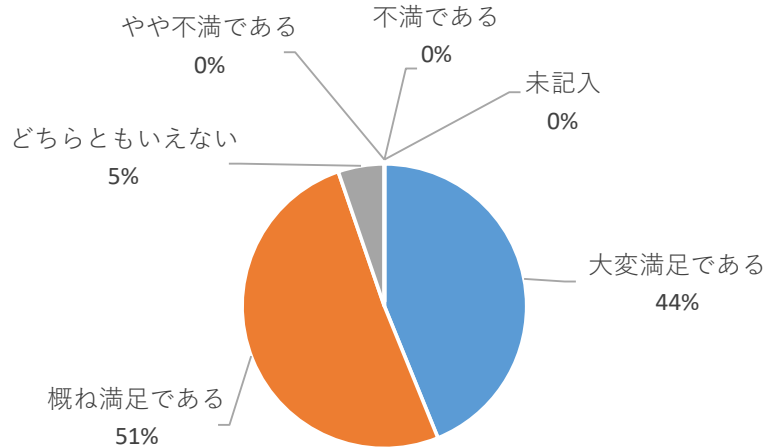
令和4年度についても、昨年度と同様にアンケートを行い、結果等を委員間で共有し、検証を行うこととしました。

4 利用者アンケート（外来訓練事業・親子通園事業）

外来訓練事業

1 提供しているサービス内容についてどのように感じていますか？

大変満足である	25
概ね満足である	29
どちらともいえない	3
やや不満である	0
不満である	0
未記入	0
合計	57



【評価理由】

大変満足である

- ・先生の講義をきいてから、よくわかるようになりました。熱心で、感謝してます。
- ・親の主観だけでは気づかないことも、外来訓練で先生に客観的な視点でアドバイスをいただけてたすかっています。また4月の小学校入学にむけてのアドバイスもたくさんいただけて感謝です。
- ・我が子を指導してくださっている先生が丁寧でよく見てくださるので、息子の成長を非常に強く感じています。有り難うございました。
- ・不満なく利用させていただいています。
- ・子どもの成長に合わせて、目標を立ててくれ、アドバイスもくれる、子育ての相談にもものってくれるから。
- ・困りごとの対応策と一緒に考えて下さったり、「これは今は仕方ない」という意見を頂けること。
- ・家庭では思いつかないアプローチで発達の凹みをのばそうとくださること。
- ・本人がとても楽しそうです。見ていて、今後何をしてあげればいいのか、苦手な事など先生のアドバイスが参考になります。
- ・個人のプログラムをとてもしっかりと組んで下さいました。親の立場にも寄り添って下さいました。
- ・子どもの状態を適格に教えていただけている。その対応策も助言いただけている。
- ・子どもの現状を専門的に評価していただけることで、幼稚園・家族で情報を共有しやすい。そのため、子どもをサポートする環境を整えやすいと感じているからです。
- ・訓練内容だけではなく、日常での困り事や就学に向けてのアドバイス、情報を教えていただける。
- ・発達の段階や成長に合わせて、色々と取り組む内容を考えていただけていること。保護者の話を聞いて、得意な面を伸ばしてくれたり、子供もとても成長しているのが目に見えて感じられること。
- ・充実した療育内容で、先生方も非常に熱心で、親子で来るのをとても楽しみにしています。
- ・親身になって相談を受けていただき、支援いただけるため。
- ・自分では気が付かない指導をしてくださり、毎回発見があります。月に3回あるので細かい悩みに答えてもらえます。運動の指導は家でマネ出来ない事も多く、子供も大好きです。
- ・本人が興味のあるような課題だったり、誘い方をして下さっていたり、少し頑張ればできる課題にして下さっていることで意欲が沸いたことで自信になってきていると感じます。

概ね満足である

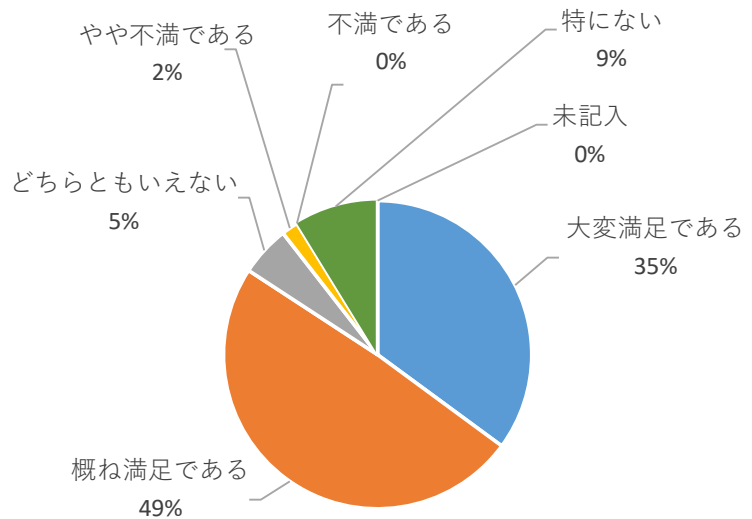
- ・相談もしやすい。
- ・親と子どもによりそって支援してもらえるからです。
- ・幼稚園とはまた違った環境で子どもを支援してもらえるため。保護者の不安によりそってもらえるため。
- ・毎週通えて、子ども本人も楽しみにしており、ありがたいです。
- ・聞きたいことはすぐに聞くことができ、子どももたのしんで行うことができている。
- ・コロナで時間が短縮されている。
- ・本人が「できた」と思えるように毎回とても細やかに課題の難度を調節して下さりありがたいです。課題について、中間計画、年度当初の計画で文章でねらいを説明いただけることも、保育園、家族と現況を共有しやすく助かっています。
- ・優しく、ていねいに対応して頂けて、安心して通っています。
- ・不満がないので、よくしていただいています。
- ・本人に合わせた指導をしてくれる。親へもアドバイスをしてくれる。
- ・子どものレベルや性格を考慮していただき、助かっております。
- ・現在45分に短縮されているが、1時間に戻る基準はあるのか。
- ・ていねいに成長を見ていただき感謝しております。

どちらともいえない

- ・週に1回45minは、とても短い時間です。また、やる内容は毎月かわったりして充実しています。しかし、トイレ、ボタンの止め方に、もう少し力を入れてもらいたいです。

2 運営事業者についてお聞きします。市が委託している運営事業者についてどのように感じていますか？

大変満足である	20
概ね満足である	28
どちらともいえない	3
やや不満である	1
不満である	0
特にない	5
未記入	0
合計	57



【評価理由】

大変満足である

- ・対応も丁寧で、特に気になる点はない。
- ・とても親切な対応で、ありがたく思っています。
- ・特に困ったことや、不快なことはありませんでした。コロナの情報など細かくご連絡頂きありがとうございます。
- ・事務の方までしっかり情報共有がされており、来所してこまったことが一度もありません。また、コロナ陽性者の発生についてもメール連絡がくるので、とてもありがたく感じています。
- ・支援への知識、ノウハウが充実している。
- ・いつも落ちついた雰囲気いただけることが助かります。
- ・賀川学園さんとのつながりやノウハウが確立していて、安心して相談できます。
- ・親がきらりに通うのは始めはとても不安でしたが、良い空間と、良い先生で、がんばって来ようと思えました。

概ね満足である

- おだやかな職員の方が多いため。
- おだやかな職員の方が多いため。
- 時間がもう少し長ければ…と思います。
- 対人コミュニケーション、お電話において大変親身になってくださり感謝しております。申し込み手続きが紙ベースかつ平日の日中に現地での提出が必要、というところが、できればもう少し便利になるとありがたいと思います。
- 疾患、障害を理由に一時保育を断られることが多々ありましたが、愛の国の保育園に受け入れて頂きました。障害者に対する理解、対応がいきとどいている運営なんだと実感しました。
- 不満がないので、よくしていただいています。
- 法人があることによって、これからの子どもの将来に関して、不安が少し軽減されたような気がします。
- どこもとても丁寧で私達にも分かりやすく説明して下さるのでとてもありがたいです。欲を言えば2カ月に1回身体を養うメニューもあれば嬉しいです。

3 現在利用している事業において今後実施してほしい療育内容、サービス等がありますか？

- 毎回、短い時間で、子どもの成長がゆっくりで、なかなかすぐ成長が見れないことがあります。特に、トイシ、おはしの持ち方、ボタンの止め方を中心に、力を入れて欲しいです。
- ネットで、子供の状況に合った勉強会していただきたいです。とても、ためになりました。
- 外来訓練の時間が17時や18時など遅い時間にやってくると助かります。
- 参観できる機会や時間
- 小学生の個別の支援があるといいなあと思います。
- 小学生の個別のサポートがあると、助かるかと思えます。
- 通常の保育時間（9時～17時など）の要支援児の保育園
- 進学先の相談（小金井市外の学校、施設含む）
- 集団でのグループ活動も時々入れていただくと、課題が見えてくるような気がします。
- 小学生以上の外来訓練をしてほしい。土曜日の外来訓練をしてほしい。
- 今年度、昨年度と同じ先生ですが、すごくいい先生で、大変満足しています。
- 個人での活動ですが、月に1回～2ヶ月に1回位グループ活動日を設けて頂ければと思います。（自由参加型） 普段、他の関わり等が見えないので、そのような場面で様子が見られると有難いです。
- 年少、年中でも集団療育があると良いなと思いました。
- ビジントレーニング、ペアレントトレーニングに興味があります。ペアレントトレーニングは現在も講座をもうけて下さっていますが、対象年齢を拡大、オンライン受講可とするなど、参加する間口を広げていただくとさらに嬉しく思います。
- まだ利用していないが、長期休みの放デイの預かり時間が9:00～だとありがたいです。
- 1つの訓練だけでなく、その子供に必要な訓練が全て受けられるようになってほしい。
- 土日のサービスもあるとありがたい。
- 親むけのセミナーを開催してほしい。（アーカイブ配信）後からも見れると嬉しいです。
- 個別、グループ、どちらも受けれるようにはならないか。（グループでは目立ってしまう事があると思うため。） 月2回個別、月1回はグループなど。
- 幼稚園でも色々な他の療育を聞きますが併用ができません。子供の合う療育を他にも探したいと思っても、きりに行けなくなると思うとなかなかチャレンジできない。本当は色々試してみたかったと思いました。
- ぴのきおさんと幼稚園や保育園との平行通所ができるとう有難いです。（月1回～3回あるいは週1回程度）
- 身体を養うメニューがあると嬉しいです。

4 その他（自由意見）

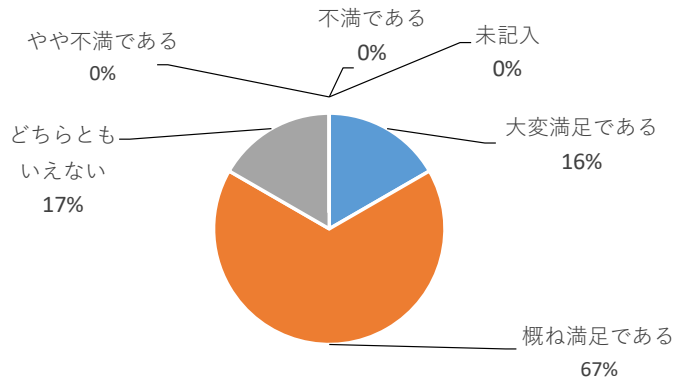
- ・療育に通っていて、2年経ちますが、子どもの成長がゆっくりで、とても不安に感じています。また、来年も、幼稚園と療育に通うと思うとゆううつになることもあります。療育をやめることも考えていたり、親や友人に相談したりして、幼稚園の先生と、療育の先生にも相談して、続けています。言葉がだいぶ増えたり、一人でいろいろ遊ぶことができたりしていることが良かったと思います。また、大好きなミッキーやアンパンマンのおもちゃを使ったりして、子どもが楽しみながら学んでいたのも良かったです。来年も、大変ではありますが、続ける予定です。いつになったら療育が終わるかを考えたりしますが、しばらくは続けていくと思っています。療育について聞きたいことがあったら、また先生に相談したいと思います。
- ・供の発育に足りていないところ、よいところが分かり、その対処なども指導して頂けるので助かっている。他の子と比べてどう違うのかが訓練の中で見えるので、普段の生活でもどう接していけばよいかの判断ができる。困ったことへの相談も気軽にできるので有難い。
- ・時間や先生、まわりの変化がにがてなので、また同じ先生にお願いできたらうれしいです。お友達とうまくいってなく、幼稚園はあまり行きたがらないのですが、キラリはよろこんで行くので、ありがたいです。
- ・コロナ禍でも変わらず運営してくださり、ありがとうございます。毎回のフィードバックで、子どもの様子を教えてくださるので、安心して通わせる事が出来ています。個人ノートですが、毎年大きさや形式が異なるのは一目でどこのクラスに所属しているかがわかるようにでしょうか？ もう少し互いに活用しやすいような内容が、どのような事を書くために利用すれば良いのか、明確であるとありがたいです。
- ・きらりのおかげで、子育てでこまっても、大丈夫と思えるようになりました。
- ・子育てがつらく、大変な時に助けてはげまし支えて下さってありがとうございます。
- ・発音の訓練で通っていますが、メンタル面のアドバイスやちょっとした子育ての悩みも相談出来てとても助かっています。こちらに通うきっかけが、下の子が言葉の遅れがあり、市のすこやか相談での紹介です。児童発達支援センターと聞くと‘発達障害がある’人が通う印象がありましたが、実際通っていて、発達を促してくれるところ、サポートしてくれるところだと知り、もっともっと一般的に知られていくといいなと思っています。
- ・療育の内容、目的を教えてください、勉強になりました。（トランポリンで、どういった力をつけているか、など）
- ・子どもの成長に寄り添っていただき、感謝してます。あっという間に終わってしまうので、もう少し長くても良いなあ～と思います。
- ・子どもが保育園などに所属しているので、夕方など、遅い時間にも外来訓練をやっていただけたらありがたいです。午前中にあたると、その一日、所属を休むことになります。
- ・いつも色々な活動ができるので、子どもは楽しく通っています。親としても生活面でのアドバイスを頂けて非常に参考になりますし、見逃していた成長ポイントや苦手ポイントをつかむことができ助かっています。保育園にも日々療育の内容は共有させて頂いています。今年も1年ありがとうございました。
- ・今年はコロナの状況等により中々活動日を確保できない事が多くあったのが残念でしたが、欠席分を翌月に充当して頂いたりした点はとても有難かったです。
- ・本人も毎回楽しみにして通えているので、今後も継続できたらと思います。
- ・きらりの先生方に大変お世話になっていることをいつも本当にありがたく感じています。手厚い支援を受けることができている現在に対して、小学校入学後の情報があまりに少なく（放課後デイ、支援級について、など）、どこで聞けばよいのか、何を準備すればよいのか、わからず困っています。就学相談までまてば情報を得られるかとは思いますが、もう少し市で相談窓口を明確にしていだけないかなと思います。
- ・いつもありがとうございます。今後もよろしく願いいたします。
- ・もっと、このような事業所が増えてほしいです。
- ・利用料を電子で決済できるようにしていただきたい。
- ・現在保育園に通っています。園での子どもの様子を聞いたことをこちらでお伝えしていますが、やはり親なので、もしかしたら親目線で聞いたことをお伝えしてしまうこともありそうなので、園ときらりと直接やりとりして頂ける仕組みだといいなあと思います。その上で、子どもに働きかけること、関わり方など、アドバイス頂ければいいなあと思います。
- ・いつも大変お世話になっております。専門家の先生方にみていただき、子どもの現状を評価していただけることで、私達親も子どもへの理解を深められていると日々感じています。楽しい雰囲気の中で訓練する時間は、子どもにとって楽しい時間になっています。家族や幼稚園での生活が中心になりますが、先々を見通してお話していただけることで、環境も整えやすく、また、親としてとても助かっています。今年度、残り少ない時間ではありますが、どうぞよろしく願いします。

- 発達に関して、きらりのような場所があると本当に助かります。療育が必要な子どもはもっとたくさんいるかと思うので、もっとこのような場が増えることを願うとともに、子どもの将来が未知で不安なものではなく、定型児の子と一緒に、楽しみになるような将来を考えられるように、社会全体がもう少し知ってもらいたいのですが。
- いつも熱心に寄り添ってくださり感謝しています。子供もきらりに通うのが楽しいようで安心しています。この一年で、子供の成長が色々な所で見られました。幼稚園に通い始めたり、本来持っている力だったりもするとは思いますが。先生方には今まで通り、訓練や指導を通して相談にのっていただけると助かります。よろしくお願いします。
- “きらり”には多くのことを学び助けられました。大変感謝しております。引き続き放デイの希望を出していますが、なかなかきらりの放デイは人気で入れるのか不安です。療育は歳や進級と共にかよえなくなりますが、この環境のかわる時こそちいさいころからみていただいた方々に見守っていただけると本当に親として心強く思います。どうぞ引き続きよろしくお願い致します。
- 子供は、毎回きらりに来ることをとても楽しみにしています。親としても家庭での療育のやり方や子供への声かけの方法などのフィードバックも充実していて有難いかぎりです。上記に書きましたが、ぴのきおさんで、部分通所（週1回コース）があると有難いです。
- 親の自分が、いつも緊張してきらりに来ているのですが、みなさんに親切に接してもらえて、何とか過しています。先生たちのように自然にほめる事が出来れば良いのにと考えています。

親子通園事業

1 提供しているサービス内容についてどのように感じていますか？

大変満足である	1
概ね満足である	4
どちらともいえない	1
やや不満である	0
不満である	0
未記入	0
合計	6



【評価理由】

概ね満足である

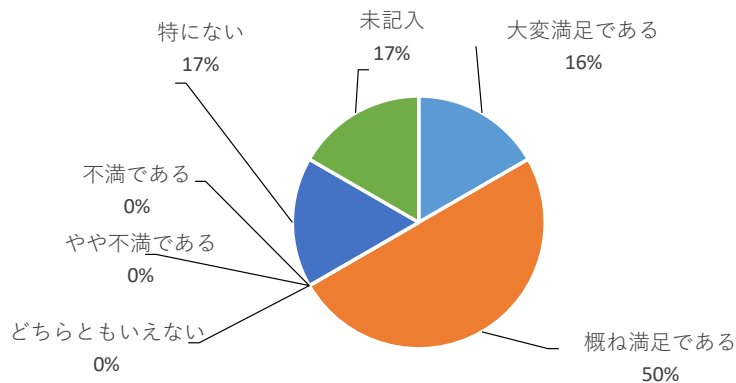
- ・ていねいに相談にのってもらえる。子どもの観察をよく見ているので有難く思う。
- ・ふれあいあそび→発語につながるか不安なので説明があるとうれしいです。
- ・本人が毎回楽しみに通園できているので。

どちらともいえない

- ・グループの集団活動をとおして、親子で楽しく参加できてよかったです。個別支援計画（2022.6）に対してフィードバックが欲しかったです。7月に療育についての案内（発達支援）があったが、もう少し早く案内してほしいかったです。

2 運営事業者についてお聞きします。市が委託している運営事業者についてどのように感じていますか？

大変満足である	1
概ね満足である	3
どちらともいえない	0
やや不満である	0
不満である	0
特にない	1
未記入	1
合計	6



3 現在利用している事業において今後実施してほしい療育内容、サービス等がありますか？

- ・個別面談を増やしてほしいと思います。

4 その他（自由意見）

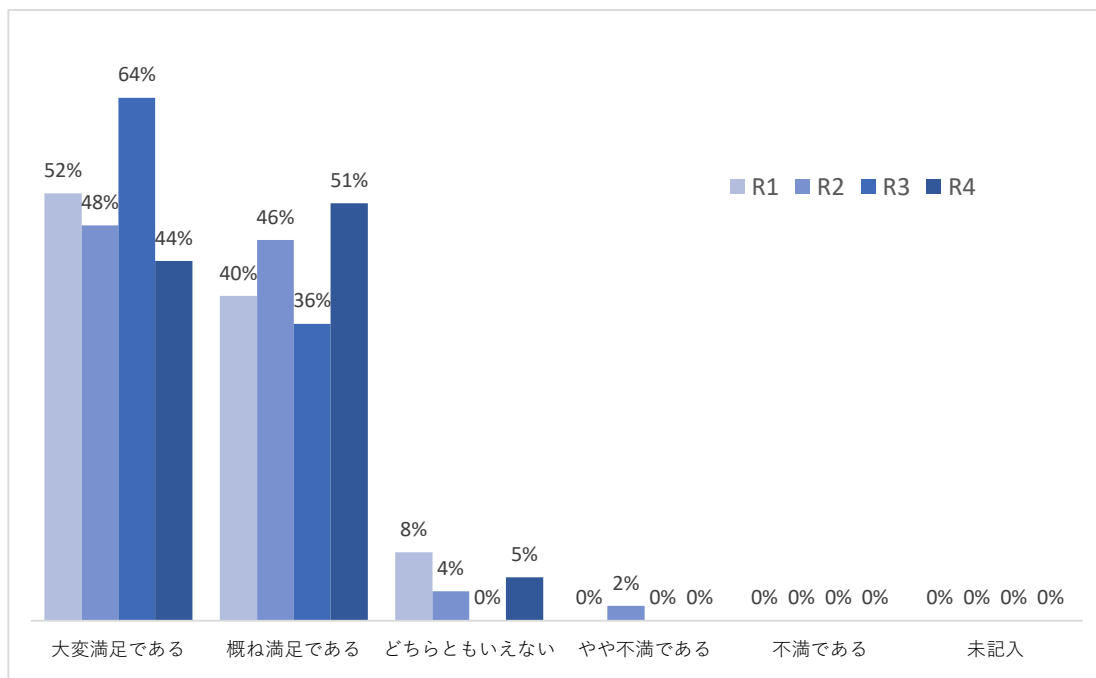
- ・いつもお世話になり有難く思います。誰もが希望する療育を受けられる日がくるよう願っています。悩める子どもさん、親御さんの良き寄り所でありますように。
- ・通園する際、自転車置場が混んでいて、隣接する保育園の前に駐輪するしかないときがありました。自宅から遠いため、車で送迎する駐車場があればよいと思います。

5 利用者アンケート（外来訓練事業・親子通園事業）経年比較

【外来訓練事業】

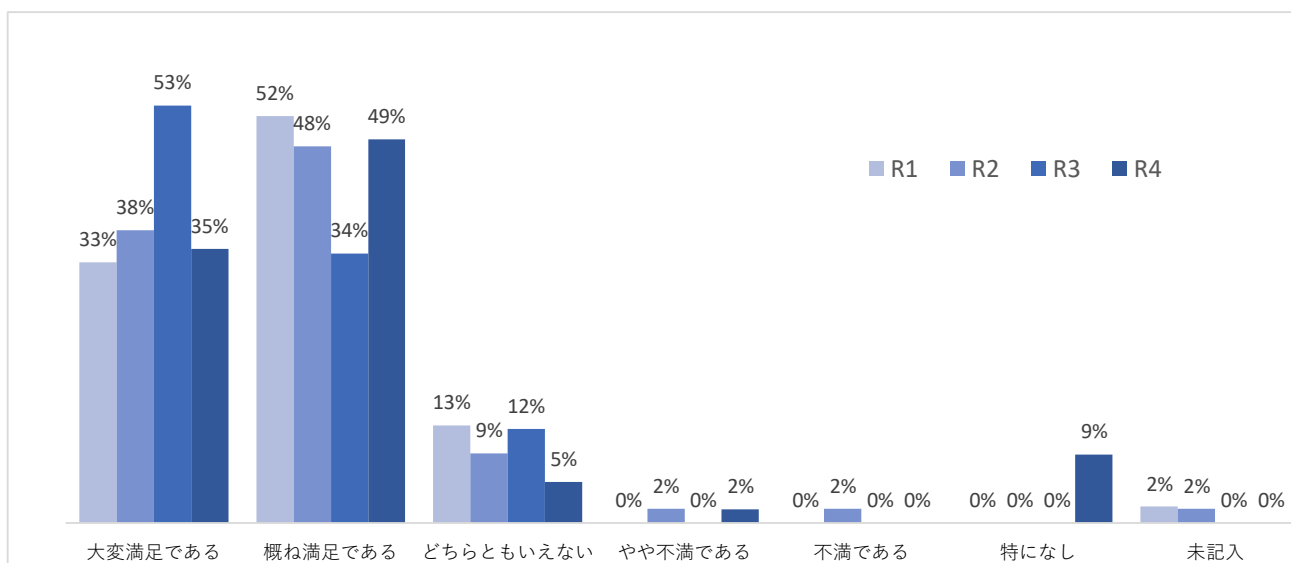
1 提供しているサービス内容についてどのように感じていますか？

	大変満足である	概ね満足である	どちらともいえない	やや不満である	不満である	未記入	合計
R1	25	19	4	0	0	0	48
R2	27	26	2	1	0	0	56
R3	37	21	0	0	0	0	58
R4	25	29	3	0	0	0	57



2 運営事業者についてお聞きます。市が委託している運営事業者についてどのように感じていますか？

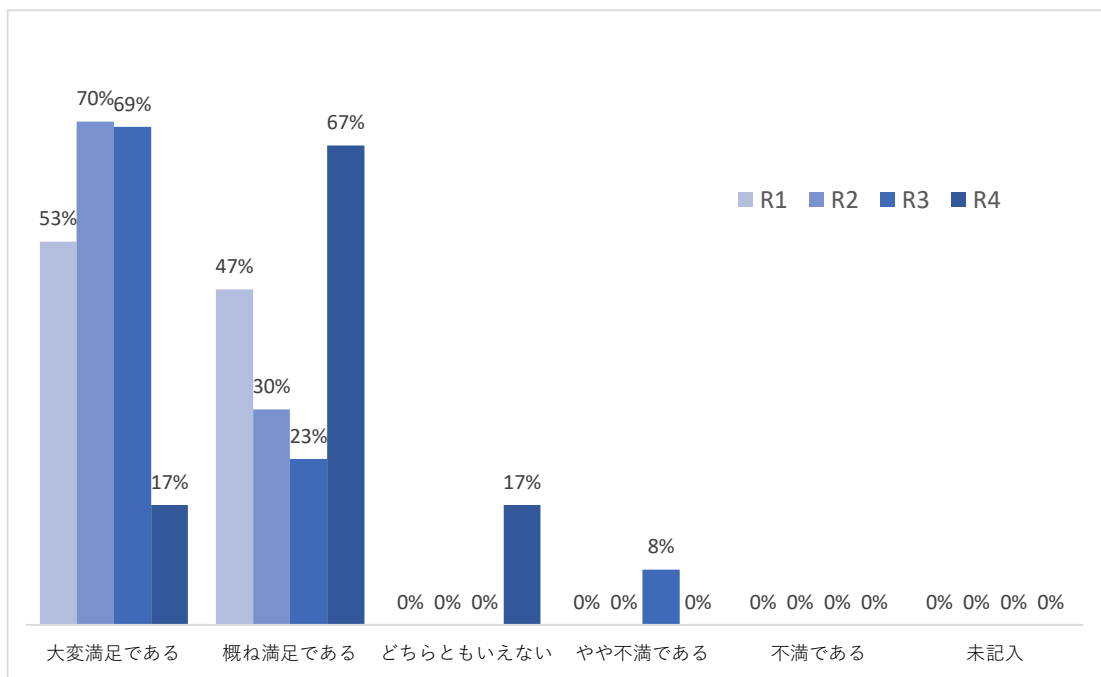
	大変満足である	概ね満足である	どちらともいえない	やや不満である	不満である	特になし	未記入	合計
R1	16	25	6	0	0	-	1	48
R2	21	27	5	1	1	-	1	56
R3	31	20	7	0	0	-	0	58
R4	20	28	3	1	0	5	0	57



【親子通園事業】

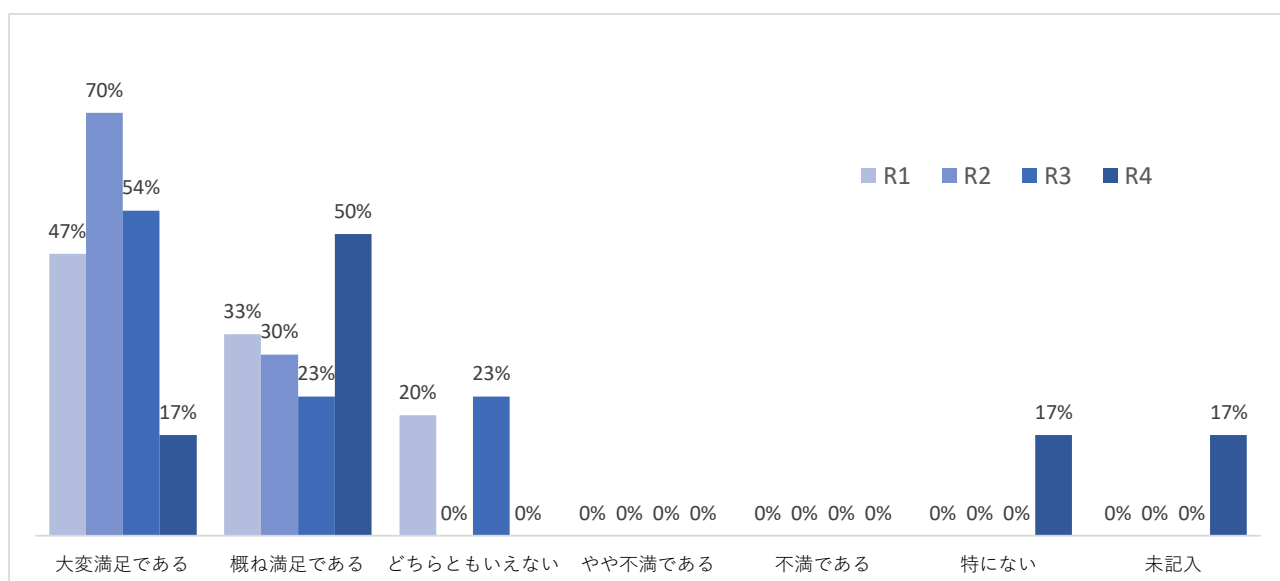
1 提供しているサービス内容についてどのように感じていますか？

	大変満足である	概ね満足である	どちらともいえない	やや不満である	不満である	未記入	合計
R1	8	7	0	0	0	0	15
R2	7	3	0	0	0	0	10
R3	9	3	0	1	0	0	13
R4	1	4	1	0	0	0	6



2 運営事業者についてお聞きます。市が委託している運営事業者についてどのように感じていますか？

	大変満足である	概ね満足である	どちらともいえない	やや不満である	不満である	特にない	未記入	合計
R1	7	5	3	0	0	-	0	15
R2	7	3	0	0	0	-	0	10
R3	7	3	3	0	0	-	0	13
R4	1	3	0	0	0	1	1	6



6 総括

平成25年10月の開所以来、小金井市児童発達支援センターきらりの運営等に関して本協議会において確認及び検証を行ってまいりました。令和4年度は協議会の第5期目（令和4・5年度）として、全4回協議会を開催し、本項はその1年間の総括としてまとめるものです。

今年度においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、きらりの事業運営にも大きな影響を及ぼし、事業の縮小等も余儀なくされたところですが、このような状況下にあっても、感染症対策をしっかりと行いできる限りの事業継続を図られたことが見受けられます。

提供しているサービスの内容については、東京都福祉サービス第三者評価による評価及び利用者アンケートの結果からも、概ね高く評価することができます。アンケートの自由記載にも、保護者にしっかりと寄り添いアドバイスに感謝しているという文言が多く見られます。

施設の管理運営面については、運営法人が指定管理者として施設の管理を行っていますが、大規模な修繕等はなく、管理状況は概ね良好であるといえます。しかし、開所より9年余りが経過し徐々に施設の劣化も見受けられ、プール周りの床板の張替えを行うなど、修繕する部分もでてきていることから、計画的な修繕に努めると共に、施設を将来にわたり安全・快適に使用するための長期的な視点も必要です。昨年に引き続き、駐車場や駐輪スペースの狭さを指摘する意見があるものの、施設上改善することが難しいため利用者にも理解を求める必要もあると考えます。

きらりからの情報発信については、オンライン研修が好評を得ています。また、コロナ禍から始まった紙面講座「きらきらレポート」も継続して発行しています。特にオンラインの録画配信が自分のタイミングで視聴できるという事で好評のようです。この点をさらにシリーズ化するなどすれば、きらりを知らない、利用したことのない方へのアプローチになり得るので、検討して欲しいと思います。また、市でも積極的に広報をする必要があります。

以上の内容を踏まえ、令和4年度におけるきらりの総合的な評価は概ね高いものであるといえます。新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、事業を安定的に継続すること、また、在り方なども検討しつつ、支援を必要とする子どもたちのために、必要な支援を持続的に行う必要があると考えます。

参考資料

- 小金井市児童発達支援センター運営協議会規則
- 小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿
- 令和4年度講演会・研修会開催実績
- 令和4年度利用実績一覧

小金井市児童発達支援センター運営協議会規則

（趣旨）

第1条 この規則は、小金井市児童発達支援センター条例（平成25年条例第19号）第19条の規定及び小金井市と小金井市児童発達支援センターの指定管理者（以下「指定管理者」という。）との間で取り交わす管理に関する基本協定に基づき、小金井市児童発達支援センター（以下「センター」という。）の利用者及び関係者の意見を反映して指定管理者の事業運営の適正化を目的として設置する小金井市児童発達支援センター運営協議会（以下「協議会」という。）に関して、必要な事項を定めるものとする。

（所掌事項）

第2条 協議会は、次に掲げる事項を所掌し課題解決等に向けた方策の提案並びに実施事業の執行状況の検証及び評価（以下この条において「提案等」という。）を行う。

- (1) センターの運営に関すること。
- (2) センターの管理に関すること。
- (3) センターの事業執行に関すること。
- (4) その他センターの事業に関すること。

2 協議会は、提案等の結果を速やかに市長に報告するものとする。

（組織）

第3条 協議会は、委員12人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) センター利用者の保護者 3人以内
- (2) 市内関係団体代表 4人以内
- (3) 学識経験者 2人以内
- (4) 関係行政機関の職員 3人以内

（任期）

第4条 委員の任期は、2年とする。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長及び副会長）

第5条 協議会に、会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第6条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の2分の1以上の者の出席がなければ、会議を開催することができない。

3 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

（意見の聴取）

第7条 協議会は、必要に応じて委員以外の者に対して出席を求め、意見を聴くことができる。

（公開）

第8条 協議会は、公開とする。ただし、公開することが協議会の公正な運営に支障があると認められるときは、出席委員の過半数の議決により、非公開とすることができる。

（庶務）

第9条 協議会の庶務は、福祉保健部自立生活支援課において処理する。

（委任）

第10条 この規則の施行に関して必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

この規則は、平成25年10月1日から施行する。

付 則（平成28年3月31日規則第37号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿
 (令和4年4月～令和6年3月まで)

氏名	選出区分
岩田 和香	市民公募
高階 美羽	
門林 裕之	
五味渕 裕子	市内関係団体
(令和4年6月30日まで)	
森田 義雄	
(令和4年7月1日から)	
佐々木 由佳	
吉見 絵里	
加藤 さやか	
(令和4年10月31日まで)	
衣目川 有里	市内関係団体
(令和4年11月1日から)	
中島 雄佑	学識経験者
小川 順弘	
佐藤 歩	関係行政機関
黒澤 佳枝	
西尾 崇	

※敬称略

令和4年度講演会・研修会開催実績

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の点に配慮して実施した。

- ◆紙面・オンライン・動画等を活用
- ◆実施回数の縮小
- ◆グループワーク・ロールプレイがある研修は人数を縮小し、フェイスシールド着用等飛沫対策を徹底

開催日	対象者	内容	講師	参加数・配布数
7月15日～8月1日 オンライン録画配信	一般市民	体幹って大事なの？ ～子どもの発達との関係～	仲本 政史 きらり 作業療法士	220名申込
11月14日 オンライン	一般市民	場面緘黙ってなに？ ～子どもの場面緘黙とその対応～	高木 潤野 先生 長野大学 社会福祉学部教授	72名申込
7月28日 より配付	一般市民	紙面講座「きらきらレポート」 No.9 子どもたちのいろいろな表現～乱暴な言葉づかい～ No.10 子どもも手伝える大人の腰痛予防ストレッチ		① 245名
	支援者	【配布先】 ①きらり利用者 ②市内保育園・幼稚園・子ども園・学校・ 学童・発達支援・福祉関係機関・その他関係機関		② 135ヶ所
8月10日～31日 オンライン録画配信	支援者	子どものようすを伝える・共有する	岡野 典子 きらり 心理士	99名申込
9月22日 オンライン	支援者	グループワーク 集団で気になる子の支援	ファシリテーター きらり 職員	13名申込
5月より		◎「就学相談等説明会（5/17）・市公式YouTube」案内 ◎就学相談の流れ・就学支援シート等紹介		全事業 年長・年中児保護者 115名
7月1日		着替え・着脱について ～子どもたちが分かって 取り組むことの大切さ～	宇佐見 翠 きらり 児童発達支援管理責任 者	児童発達支援（通園）保護者 12名
①4月～7月 ②9月～12月	きらり 利用者	ペアレントトレーニング（幼児） 6回＋フォローアップ1回	きらり 心理士	①4名 ②3名
①4月～7月 ②9月～12月		ペアレントトレーニング（学齢） 6回＋フォローアップ1回	きらり 心理士	①3名 ②2名
6月～7月		ペアレントトレーニング（学齢） 短縮版 4回＋フォローアップ1回	きらり 心理士	3名

令和4年度利用実績一覧

令和5年3月31日現在

	令和4年										令和5年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
①相談支援事業（一般）	12件	14件	14件	16件	19件	8件	14件	28件	13件	9件	11件	23件	181件	
②相談支援事業（専門）	60件	53件	63件	72件	91件	92件	87件	115件	101件	95件	114件	122件	1,065件	
③相談支援事業（☎）	78件	81件	91件	86件	94件	63件	85件	94件	80件	74件	80件	101件	1,007件	

	令和3年										令和4年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
④児童発達支援事業	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	-	
⑤放課後等デイサービス	49人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	-	
⑥保育所等訪問支援事業	0人	0人	0人	1人	1人	1人	1人	4人	4人	4人	4人	4人	-	
回数	0回	0回	0回	0回	1回	1回	0回	4回	7回	6回	5回	0回	24回	
⑦親子通園事業	18人	20人	19人	20人	24人	26人	24人	26人	29人	29人	28人	28人	-	
回数	5回	8回	6回	10回	10回	11回	11回	10回	12回	11回	7回	7回	108回	
⑧外来訓練事業	152人	153人	155人	154人	156人	156人	154人	156人	157人	158人	157人	157人	-	
回数	350回	322回	456回	374回	332回	363回	367回	331回	391回	425回	355回	348回	4,414回	
⑨巡回相談事業	0回	1回	12回	5回	0回	10回	11回	4回	4回	12回	8回	2回	69回	
その他	研修・講演会等													

各事業の報告内容について

①相談支援事業（一般）	新規の相談の方が対象
②相談支援事業（専門）	継続相談の方が対象。計画相談等も含まれる。
③相談支援事業（☎）	相談者、関係機関等との電話での相談。一般相談予約数を含む。専門相談予約数は含まない。
④児童発達支援事業	登録者数
⑤放課後等デイサービス	登録者数
⑥保育所等訪問支援事業	登録者数及び実施回数
⑦親子通園事業	登録者数
⑧外来訓練事業	登録者数及び実施回数
⑨巡回相談事業	巡回訪問実施回数（きらきらサポート）、学童巡回相談

新型コロナウイルス感染症の影響について

— 令和5（2023）年5月8日現在 —

- ◆ 2月から現在までの間、利用児童や職員についての陽性判明の報告は若干名あった。
- ◆ 令和4年度全般としては、第6波・第7波・第8波の時期に利用児童や職員、家族の陽性判明が多く見られた。陽性判明による欠席や児童発達支援（通園）の一部休止があった。また、少しでも体調が悪い場合や家族に体調不良がある場合などにも利用については慎重に判断していただいたこと、感染防止としての欠席もあったことなどから、年間を通して、例年よりも利用が少なくなった。これに伴い、利用実績に応じて算出される給付費や利用料の収入は減収となった。
- ◆ 新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5月8日から、季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行した。4月から徐々に課題設定や消毒等の対策を変更している。きりりは“障害福祉サービス事業所等”とされ、国により「重症化リスクが高い方が通われる場」としてマスクの着用が推奨されている。これらを踏まえ、現在は以下のような対応を検討している。
 - 基本的な感染症対策として、「体調不良時には休む」「手洗い」「換気」を継続する。
 - 体調不良時はできるだけ受診し医師の指示や助言を受け、症状がないことを確認してから利用する。
 - 大人はマスク着用、子どものマスク着用は各家庭の判断とする。
 - 子ども・送迎保護者・職員が陽性の場合には休む。
 - 身近な方（家族等）が陽性の場合には、体調をよく確認し、利用については各家庭で判断とする。
 - ご本人の所属先（園・学校等）で学級閉鎖等の措置がされている場合には、利用について慎重に判断していただくよう呼びかける。
 - 陽性判明についての周知は、影響があると考えられる場合に対象事業のみについて行う。
- ◆ 今後は、欠席連絡の様子や地域での感染状況などに合わせて対策を見直していく。

小金井市児童発達支援センター きらり

きらきらサポート 2022





目次

1. きらきらサポート 記録例	2
-----------------	---

2. 各園のまとめと担当心理士よりメッセージ	4
------------------------	---

2022 年度実施園 計 8 園

3. 2022 年度きらきらサポートを終えて	20
------------------------	----

きらきらサポート（きらり巡回相談事業）とは

小金井市児童発達支援センター事業詳細計画に基づき、専門職員（心理士）が園に訪問し、今後の対応等について園の職員の方に療育の面から支援をします。

この事業は「保育・教育の専門家」（みなさま）と「発達の専門家」（きらり）とが集団生活の課題についてともに考え、協働していく事業です。

きらり心理士が各園を訪問し、前半の時間はお子さんたちの生活・活動の様子を拝見し、後半の時間に先生方と話し合い（カンファレンス）の時間をもちます。

保育園は 9：30～14：00、幼稚園は 10：30～15：00 の時間を標準的な訪問時間に設定しています。最終回は「まとめの会」として、カンファレンスのみの実施です。

モデル(クラス名・イニシャル) :	訪問日: 年 月 日	書類送付締切: 月 日
-------------------	------------	-------------

<要因の整理>・・・カンファレンスにて記入

	困っていること	考えられる要因	具体的な工夫
例1	①友だちとの関わりが激しい 押したり、かっぱい首に抱き着いたり、 ほほをつねる、など ②だめと言われたことを何度もする ③「どうせできない」とすぐにあきらめる	①②意欲や努力ではなく、脳の機能(多動・衝動)としてとらえる ③注意されることが多くなりがち	①②急激な変化は難しい(脳の成熟・成長)ことを頭に入れて接していく ③自己肯定感を高めていけるよう、注意する時もまず児の理由を聞く
例2	クールダウンエリアに行っている子の姿を見て、「なんで？」と聞いてきたり、エリアを覗きに行くようになった	1人だけ違う行動が許されていると思ったり、うらやましい、ずるいと感じる子もいる	・まわりの子に対し、当たり前と思わず「ありがとう」「がんばっているね」など、認める、ほめる言葉をかける ・まわりの子の甘えを受け止める

2

<次回までの実践>・・・カンファレンス後、次回訪問までに実践して、そのようすを記入 記入日: 月 日

	工夫した内容	結果(子どもの姿)
例1	・急激な変化は難しいと話があったので、何回でも根気強く伝えることを大切にしたい ・注意する時も、注意だけで終わらず、理由を聞くことを心掛けた(注意の回数が多い場合には、毎回聞くのは難しかった)	「どうせできない」「あーあ怒られる」など、注意を受ける時に口にしてしている子もいたが、やってしまった理由を聞き、「そっか、じゃあ〇〇したらよかったかもしれないね！」など気持ちを受け止めつつ、どうしたらよかったかを落ち着いて伝えると、「そうだね」と返事することもあった。
例2	・まわりの子に対し、当たり前と思わず「ありがとう」「がんばっているね」など、認める、ほめる言葉をかける ・まわりの子の甘えを受け止める	その時にそれぞれの子どもががんばっていることを誉め、他の子のよくない行動を指摘したり、大人に教えに来た時には「教えてくれてありがとう」などまわりの子の思いを受け止めていった。少しずつ「なんで(〇ちゃんだけ)?」が減っていったように思う。

<次回の相談内容> 次回訪問日: 月 日 **例3**

お気に入りのおもちゃ等に執着していて、給食やトイレにスムーズに行くことが難しい。おもちゃ等をしまっても何とか探してきて、出してほしいと必死に訴える子も。おもちゃの提供と、しまうタイミングについて考えていきたい。

<その他> **例4**

・園でのようすを伝えると家でも園と同じような関わり方やサポートをして下さる保護者もいて、「関わることや試すことが楽しくなってきた」という話も聞いた。必要時には連絡帳でのやりとりをこまめにしている。
・就学支援シートを活用している子もいる。

記録例②

きらきらサポート まとめの会シート 【園名: _____】

まとめの会実施日 : _____ 日	送付締切日 : _____
モデル:	記入者 : _____

<最初に困っていたこと>

--

<きらきらサポートでの実

工夫したこと	結果(子ども・クラスの姿)

「まとめの会シート」をもとに、
この『きらきらサポート 2022 報告書』を作成しています

<大切なポイント>

--

<園長先生より>

--

<先生方の感想等>

--

2. 各園のまとめと担当心理士よりメッセージ

【 A 園 】

テーマ1

<最初に困っていたこと>

- ・つられて気が散りやすい、動きに引っ張られる、手が出るなどの子どもが複数いる。
- ・クラス全体の運営方法と個別対応の配慮の方法。

<きらきらサポートでの実践（抜粋）>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<ul style="list-style-type: none">・落ち着いてから話す。静かになるまでの間をあける。・流れのルーティン化。決まりのセリフを作る。・リーダーとサブの連携の工夫。・甘えたい欲求を受け止める。・手を出さずに我慢していたら誉める。	<ul style="list-style-type: none">・話を聞くことが以前よりも習慣づいてきた。・朝の会の時間だけでも、保育士のひざの上で座っていられるようになった子がいる。・自分から手を出すことはないが、何かされてしまうとカッとなって手が出ることもある・状況の変化で、落ち着けない日もある。

<大切なポイント>

- ・職員間の情報共有や連携で同じ方向で保育を行っていく。昼礼や職員会議で子どもの様子を伝え、職員全体で保育を行っていく。
- ・リーダーとサブの役割を決め、子どもたちが誰の話聞くのかわかりやすいようにする。

<園長先生より>

- ・全体の運営を行う中での個々の対応のアドバイスを、今後も職員全員で情報の共有をして、クラスに関係なく全員での保育を今まで以上に大切にしたいと思います。

<先生方の感想等>

・保育については、常日頃から職員間で話をしていますが、悩みは尽きずでした。きらきらサポートで話をすることができ、とても良かったです。共感していただいて、少し気持ちも軽くなりました。今度もアドバイスを活かして保育にあたっていきたいと思います。

テーマ2

<最初に困っていたこと>

- ・登園渋り。
- ・こだわりが強く、気持ちの切り換えが難しい。

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<ul style="list-style-type: none">・行事で自信をつける。・支度など1つ1つ声をかけていく。・保護者に登園後の様子を伝えるなど、保護者のモチベーションをあげる。・保護者の困っていることを聞き、関係機関につなげていく。	<ul style="list-style-type: none">・興味を持てば、行事などの練習には参加できる。見通しを立てると参加できる。・支度をやろうとする日とそうでない日と波がある。・保育士と話をすることで、保護者も安心した表情を見せてくれている。

<大切なポイント>

- ・家庭との情報の共有。
- ・本人の好きなことから入っていけるようにする。
- ・はじめの頃は褒められても・・・という様子もあったが、最近は褒められることを嬉しそうにしたり自信にもつながっているなので、褒めることを継続する。

<園長先生より>

・子どもはもちろん、保護者の方へもアプローチして、保育園へ来る事へのモチベーションのUPを行っていかうと思います。

<先生方の感想等>

・現在も登園渋りが続いている状態です。運動会は参加できませんでしたが、クリスマス会は堂々と発表できて良かったです。次は劇の発表に向けて、登園できたら少しずつ段階をふんでモチベーションをあげられるようにしたいと思います。

《担当心理士よりメッセージ》

- * 異年齢のクラスを、二人の担任で運営する工夫がテーマでした。リーダーの先生とサブの先生の役割分担がよくされており、子どもがどの先生のお話を聞いたらよいのか明確でした。間の取り方、注目を促す時の決めゼリフ、たくさんほめ言葉、などが実践されていました。過敏で教室にいられない子どもに対しては、時には事務所を利用したり、園長先生や担任外の先生が対応するなど、園全体でサポートをしていました。
- * 登園渋りがあり、経験が積み上がりにくい状況の中で、登園させる保護者のモチベーションをどうやって高めるかをテーマに話し合いました。行事の練習や本番で張り切る姿があるので、本人が好きな役割を与えて登園の意欲が高まるように工夫しました。その姿を保護者に伝えるなどしましたが、継続して維持する難しさがありました。保護者に園の様子をどのように伝えるかをテーマに話し合いました。

【 B 園 】

テーマ1

<最初に困っていたこと>

- ・気が散りやすく、仕度が進まない。突然「やり方がわからない」と不安になる。
- ・机にのぼったり、保育室内を走り回ったりするので注意が必要。

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<p>①子どもの不安な気持ちに寄り添い、言葉の指示だけでなく、一緒に動きながら身支度等の手順を確認した。</p> <p>②クラス全体を落ち着かせることを意識した。園のルール（安全に過ごすための）をクラスで確認し、定着を図っている。</p>	<p>①手順等がわかり自力で行うようになってきている。わからなくなった時には、その都度不安な気持ちを受け止め、一緒に行っている。最近では、仕度を終わると「これで合ってる？」と確認しに来るようになった。</p> <p>②クラス全体がルールを理解し守れるようになってきたことで、子どもの行動も落ち着いてきている。危険行動はほとんど見られない。</p>

<大切なポイント>

- ・「何でできないのだろう」ではなく、不安な気持ちに寄り添うことが大切で、一緒に動くことが安心につながり、定着へとつながっていくと改めて学ぶことができた。
- ・個が在籍している母体の安定が、個の援助にもなると再確認できた。

<園長先生より>

・園で楽しく遊ぶための取り決めをクラス全体で常に共有していくことの大切さや、保護者への支援も同時に行える体制が必要であることを学ぶことができました。

<先生方の感想等>

- ・周囲の子どもたちが安定することによって、ひとりひとりが落ち着いて過ごすようになるといったように、個と集団の両面で保育を工夫していく必要があることを学んだ。

テーマ2

<最初に困っていたこと>

- ・じっとしていられず大きな声を出す。
- ・気持ちのコントロールが難しい。
- ・排泄、身支度が身についていない。

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
①担任または補助が付き、やりたいことを見つけて一緒に取り組むようにした。	①大人を頼ることはあるものの、自分でできることが増え、安定して遊ぶようになってきた。
②その日の予定や活動内容を事前に知らせる。クールダウンする時間をとったり、時計を使い区切りを伝えたりする。	②見通しを持てることで、気持ちの切り替えがしやすくなり、活動に合流するようになった。

<大切なポイント>

- ・大人が近くにいることで不安感、不信感を取り除く。
- ・子どもの特性に合わせた見通しのもたせ方を選択する（例えば、会話、文字、数字等）。

<園長先生より>

・満足にできたことを子どもと担任が共感しあい、達成感をもたせながら一つ一つの課題を丁寧に関わり強く対応していくことの大切さを改めて実感しました。

<先生方の感想等>

・カンファレンスで話し合った内容を他の担任とも共有できたことで、一貫した援助を行うことができました。また、課題だけでなく、成長した点も多くあげていただけたことで、行ってきた援助に自信がもてました。

《担当心理士よりメッセージ》

- * テーマ1では、身辺自立や理解力の育ちがゆっくりで、初めての集団生活に不安やとまどいがある場合の対応を検討しました。先生と一緒に動いて「こうするんだよ」と援助を惜しまず教えていくことで、自分から「これでいいの？」と確認するようになり、後半には自信を持ってこなしていました。クラスには動きの多い子や幼い子が多く、個別対応と併行して、先生のもとに集まる体制やお話を聞く姿勢を作り上げ、母集団がまとまってくることによって、それぞれの子どもが集合する姿に成長を感じました。
- * テーマ2は、刺激に対して過敏で不安が強く、クラス活動に合流が難しい場面について考えました。担任の先生と補助の先生が一貫した指導をされ、子どもの気持ちに寄り添いながら安心感を育て、事前の予告・見通しの視覚化・タイミングを計る・クールダウンの利用などの援助を連携して積み上げました。徐々に活動に合流する割合が増え、苦手な行事にも様々な工夫のもとで参加できました。過敏な子どもには「安心感」をベースに指導することの大切さを実感しました。

【 C 園 】

テーマ1

<最初に困っていたこと>

- ・個別対応が必要な子に対してのアプローチの仕方。また、クラスに入った際、個性を受け止めながら、まとめていくにはどうしたらよいか。
- ・クラス意識が持てるように必要な支援、配慮とは。お互いが認めあえるクラスの作り方や工夫。

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<ul style="list-style-type: none"> ・クラス全体が進級の不安や環境の変化で戸惑っている中、クラスに入れないう子を同様に扱って過ごすのではなく、クールダウンのスペース提供、感情の受容等、子どもが落ち着けるように環境設定や配慮をした。また、クラス全体で、ひとりひとりが受け入れられるような体勢づくりを意識した。 ・個だけにスポットを当ててではなく、クラス全体での指示を増やしたり、丁寧に導入する等工夫した。理解しきっていない子や集中が向ききいていない子には、一斉説明後、要点を改めて伝えるように配慮した（場合によっては、クラス全体で振り返る機会を設けた。） ・製作や活動の中で、工程を細かく区切る、自由あそびから取り入れるなど、スモールステップですすめられるように配慮した。 ・感覚刺激が必要な場合、クラス内で出来るものを提供し、クラスの一員として意識できるようにした。 ・難しいと思うことに挑戦しやすいように、順番の工夫を行った。また最後が楽しかったクラスの気持ちで終われるように準備した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスが安定したタイミングで、クラス活動に入れなかった子が参加できたため、クラスの子どもたちが受け入れようという思いをもって、関わるようになった。 ・全体での指導の際、細かく分けて伝えることで、個別対応が必要な子以外にも理解が深まり、スムーズに活動できた。またひとりで出来たという達成感もあった。 ・苦手、難しいと思う活動の前に自由あそび、製作や運動などに触れる機会を増やすことで、経験が自信となり、抵抗なく挑戦できるようになってきた。 ・大人に注目されたくて行動したり、感覚刺激を求めている時には、クラス内で一緒に時間をすごしたり、スキンシップを取る等の準備をした。そのためクラスにいれる時間が多くなり、友達との関わりやクラス意識も深まった。 ・行事が苦手な子も、少しの配慮や工夫で参加でき、子ども自身も自信につながった。

<大切なポイント>

- ・日々の保育の振り返りが大切である。また、全体だけでなく、個の支援も取り入れたクラス運営をしていくことで、クラスの意識やまとまりに変化が出てくる。
- ・活動をする際、ひとつひとつ区切りをつけることで、改めて注目意識をもち、すすんで取り組めるようになる。
- ・そのクラス、発達に見合った行事や活動をすることで、達成感や自信となり、生き生きと子どもがすごせるようになる。

<園長先生より>

- ・きらりの先生と直接相談をしながら長期間クラス園児の様子を見てアドバイスをいただけて参考になりました。

<先生方の感想等>

- ・今回見ていただいたのは1クラスでしたが、他のクラスでも取り入れられることがあったり、それぞれの子どもにも当てはまる部分があったりと、とても勉強になりました。また、職員全体で考えたり、共有でき、子どもの理解を深める良い機会となりました。

《担当心理士よりメッセージ》

- * 着替え、製作、移動など、クラス活動の様々な場面で声掛けや工夫を惜しまず、より適応的な行動に繋がるように努めていらっしゃいました。また、担任の先生がクラス内で子どもとやり取りするだけでなく、補助の先生と空き教室に移動したり、イベントを通して別のクラスの先生とも関係を作ったり、園全体で見守ることが子どもたちの気持ちの安定に繋がっていると思いました。
- * 上手くいかない行動にはいくつかの要因が重なっているようでした。一度立ち止まり“それぞれの状況での、大人・子ども・環境の要因”を振りかえると、必要な支援が検討しやすかったです。うまくいかなかったことだけでなくうまく行った場面も踏まえ、先生方からたくさんのアイデアを出していただきました。この「見立て」をしっかり行うことでクラス活動のスムーズさに繋がっていきました。

【 D 園 】

テーマ1

<最初に困っていたこと>

- ・場面の切り替えに時間がかかる
- ・思いが通らなるとすぐに泣く、大きな声で怒る

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
①見えているものを変える	①気持ちの切り替えが早くなった
②登園時、拒否や行き渋りがあったので、ごほうびシール+スタンプを使用し意欲につなげる。	②モチベーションにつながり、登園渋りが減った→シール等なくなった
③友達との関わり、言葉にならない気持ちに仲立ちし、保育者と一緒に言語化する	③気持ちを言葉で伝えられるようになった。相手の気持ちに自分で気づくことは難しい。
④痲癩、少しクールダウンできるよう見守る	④タイマーなど使用していく

<大切なポイント>

- ・気持ちが切り替えられるようにきっかけを作って対応していった（視線を誘導し見えている景色を変える、ごほうびシール、言語化する、クールダウンの時間）。

<園長先生より>

- ・いろいろなアドバイスを頂き、それを実践し効果を実感しました。園全体でも共有し、今後の保育に活かしていきたいと思います。

<先生方の感想等>

- ・教えていただいた、子どもたちの特性に合わせた支援方法はどれも効果がすぐに出て、少しずつ困り感も落ち着いてきました。まだまだサポートは必要ですが、教えていただいたことを今後も参考にして対応していきたいと思います。

テーマ2

<最初に困っていたこと>

- ・行動がマイペースで、集団から外れたり遅れたりしがちな面がある。

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 周りを褒める。モチベーションにつながる声掛けをする。できたらたくさん褒める。 ・ 本人に合わせたすぐ先のゴールを示す（支度や準備をする時など）。 ・ 着替えはつい立て等で場所を示す ・ 保護者と子どもの様子・状況を共有する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少しずつだが、意欲的に行う日が増えてきた。日によっては、前半は自分で行う、後半は保育者と一緒に行う等工夫した。 ・ 家庭でも同様な姿があることを共有できた。支援方法を伝え、園と家庭の双方からアプローチできるようになった。

<大切なポイント>

- ・ 特性を理解し、対応は継続して行う
- ・ モチベーションにつなげる為、たくさん褒める
- ・ 目先のゴールを示し、集中して短い時間で支度ができるようにする
- ・ 家庭と困り感を共有する

<園長先生より>

- ・ 第三者からの意見、見え方により、子どもを理解することができ、対応の仕方のバリエーションが増えました。

<先生方の感想等>

- ・ 半年以上かけ、個々の特性を理解しながらサポートの方法を考えることができ、子どもたちの成長に良い影響となりました。大事なサポートや、対応してみた結果も振り返ることができ、自分自身もとても勉強になりました。

《担当心理士よりメッセージ》

* 場面の切り替えが難しく、マイペースで集団の枠組みに沿うことが難しいお子さんに対し、クラスの中で出来ることを先生方と一緒に考えてきました。できたことは明確に褒める、目的意識を作る声かけを行う、ごぼうびシールの活用等、様々な場面でできる工夫を共有できました。子どもには、調子の良い時とそうでない時の波があります。毎回大人が近くで手伝わなくても、困ることが起りやすい“ここぞ”という場面を検討し工夫を取り入れることが、適応を促す良いきっかけになったと思います。

* 子どもの目に見える行動は変わらなくても、促しを続けていくうちに小さなことができるようになり、短期間でも一人で取組めることが増え、いつの間にか力をつけていると実感できた場面がありました。苦手なことがあっても、一人一人のペースで成長している点に目を向けることが大切だと確認しました。

【 E 園 】

テーマ1

<最初に困っていたこと>

- ・友達との関わり方に課題があり、コミュニケーションをとるのが苦手
- ・身の回りのことに時間を要する（身支度や着替え等）

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
①自分で決められるように一緒に話し合うようにした。 周りが思っていることを代弁し、丁寧に説明するようにした。	①自分で決めたことは守ろうとし、時間になると自分で貸すことができた。周りの友達との信頼関係も深まっていった。やりとりが上手になった。
②「10秒で靴下しまえるかな？」など目標を決めて楽しくできるようにした。 見通しを伝えるようにした	②楽しく取り組み、自分から進んでやるようになった。

<大切なポイント>

- ①穏やかに一方的ではなく話し合うように丁寧に思いを伝え、本人が納得できるようにした。また、繰り返し“声をかけてね”と伝え、大人との信頼関係を築くようにした。
- ②見通しを持った声掛け（目標を伝えたり、自分で納得して行動できるように）

<園長先生より>

幼児クラスになると一人ひとりへのアプローチが難しくなってくることも実感していたので、今回このような機会を設けることができ、子ども自身を考えるということの大切さを改めて感じ、勉強することができました。

<先生方の感想等>

話し合いシートを使って話し合うことで、具体的に子どもが苦手に行っていること、必要な関わり方、配慮のポイント、成長している部分が明確になりました。大きく変化が見られ、成長もじっくり見守る良い機会になりました。

テーマ2

<最初に困っていたこと>

- ①保育士の声かけや指示が通りにくい。集中が続かない、興味のある事柄が少ない。
- ②基本的な生活習慣が身についておらず、着替え、身支度が出来ない。

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<p>①友達の輪の中に入れるように促していった。子どもが興味を持ったものから、遊びを展開したり、ルールを伝えつつ、1対1で丁寧に遊び方を伝えていった。</p> <p>②保育士と一緒に取り組む事を大切にされた。声かけを具体的にひとつひとつ行う（ノートを出す、くつ下を脱ぐ等）。</p>	<p>①遊びが広がったり、自分が好きな遊びを見つけられるようになった。友だちとのやりとり、会話も積極的になってきた。</p> <p>②楽しめるような声かけを工夫する事で、意欲的に取り組めるようになってきた。援助はまだ必要だが、スキルは上がってきた。</p>

<大切なポイント>

- ・声かけ1つひとつを工夫し、本児が楽しんで取り組めるような言葉を選んで促す。
- ・どこまで保育士が手を貸すか、どこまで本児に取り組んでもらうか意識しながら関わる。
- ・最初は保育士がアシストして、きっかけを作っていく。

<園長先生より>

・大人の関わりが変わると子どもの姿が変わっていくことを実感しました。また私たち保育士にはない考えなど、引き出しが多く、子どもたちを見る力がより広がりました。

<先生方の感想等>

・まだ課題は残っていますが、共に話し合っていくことで、具体的に大切にしていきたい関わり方が分かりました。まだ実践できていない、子どもの成長を促すアプローチ方法や手立てをこれから行っていきながら、引き続き、職員間で子どもの成長を見守っていきたいです。

《担当心理士よりメッセージ》

- * “着脱や身支度が身につみにくい、遊べるものが少ないお子さん”に対して、自分でできることやしていくために、どのように支援するかを検討してきました。生活年齢にとられず、お子さんの発達段階を整理し、先ずは大人と一緒に取りくむことからスタート。声のかけ方や内容、援助のさじ加減など、大人の動きを丁寧に調整していったことで、やりきる経験を重ね、一つ一つのスキルの積み上げや、“あれがやりたい”という意欲の広がりに繋がっていきました。
- * 友だちとの葛藤場面では、子どもの思いに寄り添い、大人が味方となって一緒に考えることを大事にしながら関わってくださっていました。大人への信頼感をベースに、うまくいく経験が増えたことで、やりとりの力が伸びただけでなく、周囲の目や友達同士の関係性も変化しました。成功体験を支えていくことの大切さを実感しました。

【 F 園 】

テーマ1

<最初に困っていたこと>

- ・食事では好き嫌が多い
- ・オウム返しが多い。言葉の広がりがない。
- ・加減が難しい

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<ul style="list-style-type: none">・年間を通してクラス全体で『言葉で伝える』ことを大切にしたい。言葉で切りかえる、折り合いをつけられるように促した。・掲示物の固定、情報量。物の置き方、量を明確に。・連絡帳で親子の会話を促すような書き方、情報提供。	<ul style="list-style-type: none">・自分の状況を自分なりの言葉で伝える姿が増えてきた。保育者が仲介すると相手にも伝わる体験ができて、友だちとのかかわりも増えた。自信にもつながった。・家庭でも園と同じ対応で、親子での成功体験を味わっている。「子どもからの話で様子が分かるようになった」と話していた。

<大切なポイント>

- ・一番大切なことは「成功体験」。成功体験を日常の中で多く体験できることが大切。
- ・みんなが分かりやすい掲示、配置の「ユニバーサルデザイン」がアンテナの少ない子どもにとって、情報が得られる環境であった。

<園長先生より>

・きり担当とのフィードバックの時間は、担任が工夫し試したことを具体的に振りかえる機会になりました。実行したことへの評価や感想をいただき改善するといった循環がなされ、子どもたちが成功体験をし、わかりやすい情報を得て、見通しを持てる安定した一年を送ることが出来ました。

<先生方の感想等>

- ・1人ひとりの配慮や特性を理解することの大切さ、また考えて様々な設定をして、合うかどうかを試すことの重要性を改めて感じました。

テーマ2

<最初に困っていたこと>

- ・他児に興味を示さず、応答的な関わりが難しい。
- ・戸外あそび（あそぶ範囲を越えて行ってしまう）
- ・指示が通らない

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<ul style="list-style-type: none"> ・注意を向けてから、話をするようにした。 ・特定の保育者との1対1の関わりを増やした。 ・発した言葉に共感し、よりそった。 ・本児が感覚的に苦手な足ふきマットを手洗いの度にずらし、苦手な感覚を回避した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉が流れず、指示が通る事が増えた。 ・1対1の関わりで、表情が豊かになった。 ・発語が増え、保育者に自分から声をかける姿が見られた。 ・感覚が苦手な足ふきマットを自分でずらして手を洗い、終わると元に戻すようになった。

<大切なポイント>

- ・人との関わりを大切にする。
- ・たくさん遊び体幹をきたえる。
- ・興味の幅を広げ、感覚や刺激等があまり気にならなくなるように支援する。

<園長先生より>

・子どものことをわかってあげたい、よりそってあげたいという担任の気持ちによりそい、心理士から専門的な意見をいただきました。具体的なアドバイスで担任が子どもに適切な対応が出来るようになりました。子どもの表情が豊かになり、快適な時間が増えました。

<先生方の感想等>

- ・子どもが抱える困りごとに目を向け、何を改善し支援すれば子どもが快適に過ごせるか、考える力がついた。
- ・保育をしていて、今まで気づかなかったことが見え、工夫につながった。

《担当心理士よりメッセージ》

- * ちょっとしたサポートにより生活しやすくなる子どもたちが多いクラスでした。先生は1人1人への配慮をしながらも、クラス全体の物の配置や絵本やおもちゃの量、活動の導入やグループ編成、言葉と写真などの視覚支援を併用したりと、生活の「ちょっとした支援」を多く取り入れクラスをまとめておられました。それぞれの子どもへのサポートと全体への支援が組み合わさり、子どもたちの生活しやすさにつながっていました。
- * クラス全体での活動がスムーズにいかない時のようすについて、子どもを発達的な視点でいねいに捉えていくことが有効に働いたケースでした。子どもが何に困っているのかをよく観察して抽出し、どうすれば子どもが安心してすごせるのかを検討し、様々な方法を試すことが繰り返されました。1つの方法がうまくいかなくてもあきらめない先生方の姿勢が印象的でした。

【 G 園 】

テーマ1

<最初に困っていたこと>

- ・皆の前に出ると声が小さくなる。
- ・自分の主張が強すぎて歌もまとまりがない。

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
①皆の前で発表する機会を増やし、そして褒め認めていく。	①皆の前で話すことに慣れ、自信をもって声が出せるようになった。
②子ども達への指示は端的に伝え、視覚教材を用いる。	②子ども達が覚えやすく、行動に移しやすくなった。教材があるとよく注目する。
③取り組んでいるところに注目し褒める。	③④保育者に褒め、認めてもらうことで、
④自分で考える機会を作り、認めていく。	子ども1人1人が頑張ろうとする気持ちが見られるようになった。

<大切なポイント>

- ・分かりやすく指示をする。→子どもがよく聞き、自分で考えて行動することにつながった。
- ・できている事や頑張っている事に注目し認めていく事が、子どもの自信につながった。
- ・1人1人を認めていくことで、合唱で自身を主張する子も減り、歌声もまとまってきた。

<園長先生より>

・定期的なきらきらサポートにより、4月から比べるとクラス全体がとても落ち着いてきました。ひとりひとりの特性を考慮した上での、個々の関わり方へのアドバイスとクラス全体に向けてのアドバイス両方をお話できたことが、とてもよかったと感じています。

<先生方の感想等>

・最後の訪問時に「クラス内の小さなトラブルが減りましたね」と言われ、自身もその瞬間過去を振り返るきっかけとなり、今もまだトラブルがあるが、子ども達同士で解決したり大きなめごともなくなくなり、当たり前と思っていたことは当たり前ではなく日々子ども達の成長だったと感じました。改めて自身の保育の振り返りができ、気づきもたくさんあったので今後も意識して、当たり前を当たり前だと思わずに保育していきたいと思いました。

テーマ2

<最初に困っていたこと>

- ・切り替えがうまくできないこと。
- ・くつ下や上履きを投げてしまうこと。
- ・日常生活の中で、本児自身でできそうなこともやろうとしないこと。

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
①くつ下、上履きを投げることには一貫して良くないことだと伝え続けた。 ②枠組みを決めた。 ③行動の理由を保育者が言語化した。 ④難しそうな活動に関しては、無理に参加させることはしなかった。	①②③投げる行動は減ってきて、なぜ集団と違う行動をしてしまうのか自分で理由を話せることが増えた。 ④集団と同じことは難しくても別の形であれば参加することができた。また、子どもも納得して応じられた。

<大切なポイント>

- ・集団活動の中でも一律ではなく、できそうな所から誘うようにする。
- ・好き勝手にするのではなく、保育者の指示のもと、動けるように保育をする。

<園長先生より>

- ・定期的なきらきらサポートで、客観的な視点でのアドバイスがいただけたことは、大変有意義でした。また、保護者に対しての働きかけも、うまくいったように感じています。

<先生方の感想等>

- ・数回のサポートで、ひとりでは考えつかなかった対応案を教えていただき、幅が広がったように感じます。“集団で”ということをとっても考えていましたが、それぞれの子どものできること、それぞれの満点を探すことがいかに大切かということが良くわかりました。頭ではわかっているつもりでも、保育者としてクラス運営をしていく中で、忘れがちだったことを、今回改めて見返すことができました。

《担当心理士よりメッセージ》

- *子どもたちが自信をもって園生活を送るための対応について話し合いました。子どもたちが取り組んでいることや頑張っていることに目を向けて認める関わりを大切にすることで、子どもたちの意欲がさらに引き出されていました。また、大人がすぐに答えを伝えるのではなく、子どもたちが考える機会を意識的に作ったり、指示の伝え方や情報の示し方を工夫することで、子どもたちが主体的に行動できるよう対応なさっていました。
- *気持ちが切り替えにくく、集団活動に参加しづらいお子さんへの対応について話し合いました。みんなと同じように参加することだけを求めたり、“参加しなくてよい”と決めてしまうのではなく、本人の思いを丁寧に確認して受けとめながら、本人ができそうな参加の仕方を考えて誘っていくことで、少しでも参加できたと思える経験を積み重ね、意欲につなげていくことが大切であると実感したケースでした。

【 H 園 】

テーマ

<最初に困っていたこと>

- ・かんしゃくの対応の仕方、対応で保育者が疲れてしまうこと
- ・奇声を発する子がいること

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
① 1人の子に関わりすぎず、周りの保育に目を向けた。	① 対応が必要な子どもも、周りの子に対応している保育者を見ることで、気持ちの切りかえにつながった。
② 強制的に参加させず、少しでも参加できるようにその子に合わせて取り組めるようにした。	② だんだんとその場にいることに慣れ楽しんで参加する姿があった。
③ 注意しなくて済む準備・状況を作った。	③ 子どもの理解能力の程度を知れた。感情的になる機会が減った。
④ 保育者として自分の役割を意識した。	④ 他の話も気軽にすることができ、動きやすくなった。スムーズな保育につながった。
⑤ 待つ時間にゲーム性ややることなど目的を作る。	⑤ 時計を見て意識したり、待っていることへの意識が向いた。

<大切なポイント>

- ・「全体」を意識した立ちまわりの仕方。
- ・注意をしなくて済む準備をする。
- ・最初から決めつけず諦めた声かけをしない、可能性を見つける。
- ・冷静に全体を見る時間を作る。

<園長先生より>

- ・今回このような機会を頂いて、関わり方、声かけの仕方を知ることができ、また改めて自分たちの保育を見直すことができよかったです。
関わり方を知ることができたことで、こちら側も少し余裕を持って接することができていました。

<先生方の感想等>

- ・今回は沢山のご相談をさせて頂き、そして分かりやすくアドバイスをして下さりありがとうございました。今まで気になる子どもに対しての接し方に難しさを感じていましたが、きらきらサポートで沢山の学びがあり、実践することで、気になる子どもも少しずつ園生活を皆で楽しめるようになっていたり、落ち着いて過ごすことが出来ています。また今後にも活かしていきたいと思います。
- ・今回こうして対応を考え、実践して次回にまた違った悩みができて、それも相談させていただき、自分の保育に対する心の持ち方も変わりました。どのクラスにも活用できることだと思うので、共有したり、思い出したりしながら取り組めたらと思います。

《担当心理士よりメッセージ》

*対応が必要なお子さんに向き合うことと、集団を動かしていくこととのバランスがテーマになりました。どこで何をしていればよいかクラス全体に向けてわかりやすく示すことで、まずはクラスの動きを作っていくことを大切に考えていきました。クラスの動きがわかりやすくなることで行動しやすくなったり、安心して過ごせるお子さんが増えるので、サポートが必要なお子さんに個別に対応しやすくなることを先生方と確認しました。集団の大きな流れを作っていく先生と、対応が必要な個人に関わっていく先生と、役割を意識しながら実践していくことで、クラス全体の流れがスムーズになることを実感しました。

3. 2022年度のきらきらサポートを終えて

- ◆発達の見点で子どもたちの生活を検討していく過程で、普段のクラス運営や活動の段取り等が話題にのぼることも多かった。

- ◆「発達の見点」で園での取り組みを検討する事業ではあるが、発達の見点に限らず「第三者」が訪問し気づいたことを共有することで、見慣れていること、習慣になっていることを見直す機会となっていると感じた。

- ◆きらりの心理士が園の先生方と一緒に考えていく事業だが、きらきらサポートの書類を記入したり、検討したことを先生方が日々実践する「アウトプット」作業を通して、先生方がご自身でさらなる工夫の可能性に気がつき、その気づきを次の取り組みに生かされていた。

- ◆全5回の訪問ではあるが、より多くの回数を望まれる声も聞かれている。回数を増やすことはより多く先生方と検討の場を持つメリットもありながら、一方でそれだけ多くの時間を確保することとなり、先生方の負担も懸念される。訪問回数を含め、現在の手順を継続しながら子どもを発達の見点でとらえ、必要なサポートを考えていく過程について、よりわかりやすく丁寧に伝える心理士のスキルも向上していけよう、取り組んでいきたい。

- ◆心理士は、各園の訪問後きらりに戻り、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士等に、より専門的な内容に関して意見を求め、次の訪問時に園の先生方にお伝えすることもある。実際の子どもたちの生活の場の様子を知り、サポートを考えていくことで心理士としての引き出しも増え、それがきらりで相談を進めていく際にも役立っている。



令和5（2023）年度巡回相談事業について

1. 市内学童保育所

- ◆市の巡回事業をきらりが引き継いで実施（平成27年度～）
- ◆4月～5月に学童保育所担当者の方と全体を日程調整
- ◆全施設（10か所）へ年3回ずつ訪問
- ◆全体研修を年1回実施

2. 市内認可保育所・幼稚園・認定こども園（きらきらサポート）

- ◆試行期間を含め、令和元年度から実施
- ◆1園につき5回（まとめの会を含む）の訪問、8園を予定
（応募数：令和元年度15園、令和2年度11園、令和3年度10園、令和4年度11園）
- ◆令和5（2023）年度の予定
 - ① 5月中旬 市内認可保育所（公立を除く）、幼稚園、子ども園（48園）へ以下の書類を送付
 - 「きらきらサポート2022報告書」
 - 「きらきらサポート（きらり巡回相談事業）募集要項2023」
 - 「きらきらサポート申込書」
 - ・質問は電話にて受け付け
 - ・申込はFAXにて受け付け 5月下旬〆切
 - ② 6月上旬までに実施園決定、通知
応募園多数の場合は、過去に実施していない園を優先
 - ③ 6月中旬～下旬に説明・打合せ（配慮点等）
事前書類の提出を依頼
 - ④ 6月下旬～7月上旬より訪問を開始
 - ⑤ 1月～2月中旬までに訪問最終回（まとめの会）
 - ⑥ 訪問最終回（まとめの会）終了後、報告書案を各園で作成・提出
 - ⑦ 報告書を作成し、次年度募集要項とともに配布

令和 5(2023)年度講演会・研修会開催予定

- ◆内容により、「対面」と「オンライン」の利点を生かしながら実施する。ペアトレの募集人員をコロナ流行前に戻す(4名→6名)。
- ◆ペアレントトレーニング土曜日短縮版は2年実施し、参加希望者が少なかったことから今年度は実施しない。新たに「おひさしぶりフォローアップ会」を実施する。

令和 5(2023)年 5 月 8 日現在

対象	日程	内容	講師	対象
一般市民向け 講演会	11月頃予定 ※オンライン(録画配信) 後日視聴あり 予定	仮)身体の育ちと遊び	中山 雅和 きらり 理学療法士 社会医学技術学院	市内在住・在勤・在学
	9月頃予定 ※オンライン(ライブ配信) 予定	仮)生活や学習にタブレットやICT機器 を活かす	森脇 愛子 先生 青山学院大学	市内在住・在勤・在学
支援者向け 研修	調整中 ※対面予定	仮)障害理解教育について	新井 直子 先生 都立小金井特別支援学校 特別支援教育コーディネーター	保育園・幼稚園・子ども園等、 学校、学童保育、 発達支援・福祉関係機関、 その他の関係機関
	調整中 ※オンライン(録画配信) 後日視聴あり 予定	着替えについて	宇佐見 翠 きらり 児童発達支援管理責任者	保育園・幼稚園・子ども園等、 学校、学童保育、 発達支援・福祉関係機関、 その他の関係機関
関係機関 きらり保護者 向け	準備出来次第 配布	紙面講座「きらきらレポート」		きらり利用者、 保育園・幼稚園・子ども園等、 学校、学童保育、 発達支援・福祉関係機関、 その他の関係機関

きらり 保護者向け 学習会	情報提供	◎「就学相談等説明会(5/15)」案内 ◎就学相談の流れ・就学支援シート等紹介		全事業 年長・年中児保護者に配布、掲示にて案内
	9月28日(木) ※対面	ペアトレってなに？ ～ペアレントトレーニング・基本の考え方～	岡野 典子 きらり 臨床心理士	きらり保護者
	11月頃 ※対面	仮)生活習慣について	宇佐見 翠 きらり 児童発達支援管理責任者	児童発達支援(通園) 保護者
	前期:4月～7月 後期:9月～12月 ※対面	ペアレントトレーニング(幼児) 6回+フォローアップ1回	きらり 臨床心理士	相談・外来訓練 (年中・年長)保護者 前期:6名にて実施中 後期:6名予定
	前期:4月～7月 後期:9月～12月 ※対面	ペアレントトレーニング(学齢) 6回+フォローアップ1回	きらり 臨床心理士	相談・放課後等デイサービス 保護者 前期:5名にて実施中 後期:6名予定
	7/8(土)・9/9(土) 2/8(木)・2/15(木) ※対面	おひさしぶりフォローアップ会	きらり 臨床心理士	平成28(2016)～令和3(2021)年度に 受講した保護者 各回:8名程度を予定

令和5年度運営協議会開催日程について

1 年間開催回数

4回

2 次回以降の予定

回	開催日	時間	場所
第1回	令和5年5月17日(水)	午前10時から正午まで	小金井市役所本庁舎 3階 第1会議室
第2回	令和5年8月16日(水)	午前10時から正午まで	小金井市役所本庁舎 3階 第1会議室
第3回	令和5年11月9日(木)	午前10時から正午まで	小金井市役所本庁舎 3階 第1会議室
第4回	令和6年2月1日(木)	午前10時から正午まで	小金井市役所本庁舎 3階 第1会議室